

いもこじ

第57号
【年3回発行】
〈事務局・編集〉
鹿児島教育事務所

コロナ禍後の人づくり、地域づくり

日置地区社会教育振興会 総会

5月20日(月)、いちき串木野市いちきアクアホールにおいて、日置地区内の社会教育関係団体長や社会教育行政担当者及び学校長代表、福祉、防犯関係等の委員31名(委任状含む)が出席して、本総会が開催されました。

活動テーマ
青少年の健全育成及び生涯学習
社会実現を目指す社会教育関係者の役割はどうか。

総会では中屋会長(代読)の挨拶の後、協議が行われました。

協議では、令和5年度事業報告や決算、令和6年度活動方針案、事業計画案、予算案、新役員案等が審議され、承認されました。

本地区の生涯学習の推進、社会教育の振興、そして、人づくり、つながりづくりを通して、コロナ禍後の地域の活性化に努めることを確認しました。



総会での協議

令和6年度新役員 (敬称略)

会長	中屋 謙治 (いちき串木野市長)
副会長	谷川 敬 (鹿児島教育事務所長)
副会長	中木屋 豊 (地区社会教育委員 連絡協議会長)
副会長	元山 寿哉 (日置市PTA連絡協議会長)
副会長	相良 一洋 (いちき串木野市教育長)
監事	中川 辰也 (羽島小学校長)

月	日	曜	令和6年度 地区社会教育振興会関係行事
6	14	金	鹿児島地区社会教育委員・社会教育担当者等研修会 <<日置市>> (兼 鹿児島地区人権教育ブロック別指導者研修会)
6	18	火	日置地区地域女性団体連絡協議会研修会 <<いちき串木野市>>
7	6	土	日置地区PTA正副会長等研修会 <<いちき串木野市>>
7	16	火	鹿児島地域文化財保護審議会委員及び文化財行政担当者等研修会 <<いちき串木野市>>
8	27	火	日置地区ふるさとを興す保健・福祉学習大会及び組織・教育・食料・環境学習大会 <<いちき串木野市>>
10	22	火	日置地区公民館経営研究会 <<日置市>>
11	7	木	第54回九州ブロック社会教育研究大会鹿児島大会(~8日)
11	19	火	日置地区文化財担当者等研修会 <<場所未定>>
1	25	土	県PTA活動研究委嘱公開<<日置市>>
2	2	日	日置地区生涯学習推進大会<<いちき串木野市>>

主体的・意欲的な子ども会活動を!

鹿児島地区子ども会育成連絡協議会 総会

5月13日(月)、鹿児島地域振興局で、2市2村の担当者18名が出席して開催されました。

総会では、松尾会長の挨拶の後、令和5年度事業報告・決算報告、令和6年度事業計画案、予算案及び役員案が審議され承認されました。また、2市2村の子ども会活動の取組が発表され、短い時間で話したがる地域での活動や問題点などが話し合われました。



総会の様子

主な行事

月	日	行事
7	27-28	県ジュニアリーダー及び高校生クラブ等交流大会(北薩地区)
7	28	青少年ふるさと美化活動
9	13	鹿児島地区子ども会育成連絡協議会第2回運営委員会(いちき串木野市)
12	7	鹿児島地区子ども会大会、指導者・育成者研修会(日吉老人福祉センター)
1	10	鹿児島地区子ども会育成連絡協議会第3回運営委員会(鹿児島地域振興局)

令和6年度地区子ども会役員 (敬称略)

会長	松下 良照 (いちき串木野市)
副会長	松尾 四男 (日置市)
副会長	長濱 義人 (三島村)
副会長	上園 徹 (いちき串木野市)
監事	下野 照男 (日置市)

日和下駄



地域の宝を守り、活かし、残すために

十島村教育委員会 教育長 木戸 浩



十島村でも国や県・村の天然記念物に指定されているものがあります。ユネスコの無形文化財に登録されている悪石島の仮面神「ボゼ」は有名ですが、昨年は諏訪之瀬島の落差283歳の「白水の滝」が「名勝」として村の文化財に登録されました。落差日本第3位の滝です。他にもまだまだたくさん「宝」がどの島にも眠っています。民俗芸能の盆踊り等は後継者不足で危機に瀕しているものもあります。学校教育の中でも「トカラ科」(総合的な学習)を使って、調べ、まとめ、情報発信していくようとしています。

地域からの要望や、文化財保護審議委員の方々の協力を得ながら、たくさん「宝」を後世に残す努力をこれからも行っていきます。また、「十五の島立ち」をする子供たちが自立し、そして、将来自分の島に魅力を感じ、帰ってこられるような取組を、今後も進めていきたいと思います。



白水(しらみず)の滝

消費者問題

「身近に潜む消費者トラブル」ご用心 対策は！

日置地区地域女性団体連絡協議会研修会

6月18日(火)、いちき串木野市市来地域公民館で本研修会が開催され、両市から会員、行政関係者を含め71人の参加がありました。

消費者問題を知る

2022年のデータによると、県内でも1万4千件近くの相談や苦情が寄せられているようです。特に近年、サービスが多様化し、スマートフォンなどの急速な普及により、年々複雑かつ巧妙・悪質化しており、新たなトラブルが日々報告されています。



▲挨拶をする塩屋かよ子会長

題「身近に潜む消費者トラブル」
演 消費生活センターを御存じですか？

いちき串木野市水産商工課消費生活相談員の川崎哲夫さんに、最近の消費者問題の事例や対応策、さらに相談窓口である消費生活センターについてお話をいただきました。

消費者トラブル

などで困った時の「クリーニング・オフ」の手続きについて、具体的な方法を教えていただきました(必ず期間内に書面による通知を出すことが大事)。



▲講師の川崎哲夫氏(右)

困った時は、まず相談！
消費生活センター等では、消費生活に関する様々な相談や苦情を専門の相談員が受け付け、トラブル解決のためにお手伝いをしています。

消費者ホットライン
☎188(局番なし)

- ◆ 参加者からの意見や感想等
- ◆ 分かっているようで知らない事がたくさんあった。
- ◆ クリーニング・オフは全てできると思っていたので、とてもよい勉強になった。
- ◆ 事例を聞きながら思い当たることが多かった。断る勇気もなくて、大変な思いをしたことがあった。学んだことを生かしていきたい。

ただ、最近、増加している通販などのネットショッピングトラブルはクリーニング・オフが適用されないということでした。そのためにいわゆるお試しネット通販(これってー回限りじゃないの?)などでは、注文前に販売サイトや「最終確認画面」の表示をよく確認してくださいと強調されました。



▲研修会の様子

人教

みんなで進めよう人権教育 みんなで育てよう人権感覚

鹿児島地区社会教育委員会及び社会教育担当者等研修会

日置市中央公民館で6月14日(金)に開催しました。



▲挨拶をする中木屋豊会長

題 誰もが幸せに生きるために
演 「無意識の思い込みはありませんか？」

講師は、鹿児島県人権同和对策課の常深透人権研修推進委員です。常深氏は県教育庁人権同和对策課長や鹿児島市立長田中学校長等を歴任されています。



▲講演をする常深透氏

- 講演では次の3つの視点で話をされました。
- (1) 人権感覚を研ぎ澄ます
 - (2) 鹿児島県の部落差別(同和問題)の現状
 - (3) 性の多様性

「障がい者なのに、頑張っているね」「女性なのに、出世してすごい」など、何気ない言動が誰かを傷つけている「自覚なき差別」があることを知り、それを起こさないためにも、相手

を尊重し、相手の立場や状況を想像し、相手の話に耳を傾け、共感することが大切であると話されました。部落問題(同和問題)では「水平社宣言」を詳説し、なぜ、部落差別意識が生まれるのかなど差別の本質に鋭く迫る講話でした。人を「異質」ととらえることなく、相手の多様性が尊重されるべきだと強調されました。

差別のない社会の実現を
参加者は最初から最後まで常深氏の人柄が溢れるトークと巧みな話術で、引き込まれていきました。

本研修会で高まった人権課題への意識が各社会教育委員会関係の学習に広がり、多くの方の人権感覚が研ぎ澄まされていくことを願っています。

人権問題を「正しく理解する」「自分の問題だと感じる」「繰り返し学ぶ」ことが大切



▲研修会の様子

わが町からく十島村教育委員会

釣り大会

中之島 子ども会

中之島子ども会では、5月に子ども会総会を開き、年間計画を決定します。総会までに、「今年は何をしたか」を子供、大人の両方にアンケートをとり、その結果を子ども会長がまとめ、総会に諮ります。

総会は、予定通り進むと思いましたが、会の途中、低学年の児童から、「釣り大会がしたい」との意見がありました。みんなで、その意見を尊重し、場所、時間帯、延期の場合の対応等、互いに知恵を出し合いました。

釣り大会の一週間前、漁協の方を講師に釣り竿つくりをしました。釣りは大雨で、翌日に延期になりました。その日は、ほどよい天気にも恵まれ、釣果を上げることができました。閉会式では、「重かったで賞」「たくさん釣ったで賞」の表彰が行われました。



中之島では、中之島ならではの自然を楽しむこと、地域の方とのふれあいをもつこと、地域に貢献できること、異年齢集団で仲良く活動することなどを組み入れています。今年も、島全体で子どもたちの成長を見守っていききたいと思っています。

わが町からく十島村教育委員会

わが町からく三島村教育委員会

悲運の僧 俊寛を祀る「俊寛堂」

三島村指定文化財

1777年、権勢極まる平家の時代、俊寛ら3人は京都で平家討伐を企てたとして、平清盛によって薩摩国の鬼界ヶ島に流罪となりました。その島が現在の硫黄島であったと言われています。

後に恩赦が発せられ、島を去ることになりましたが、赦免状に俊寛の名だけがありません。俊寛は赦免船にすがりつき、必死に乘せていつてくれるよう泣いて頼みましたが、使者に引き剥がされてしまいました。絶海の孤島に残された俊寛は嘆き絶望して泣き崩れたとされます。その後、一人粗末な庵(住居)に住んでいましたが、2年後、失意のうちに37歳で亡くなりました。

島の人たちはその生涯を哀れみ、俊寛が行き来した川原に墓を建て、後に庵跡に墓を移転し、「俊寛堂」(写真)として、祀ってきました。今もお盆には俊寛を弔う送り火が焚かれます。



ここ硫黄島では、中村屋による屋外歌舞伎「俊寛」が平成8年、23年の2回上演されていますが、故中村勘三郎さんの遺志が引き継がれ、13回忌に当たるこの10月に3回目の公演が開催されます。

わが町からく三島村教育委員会

あなたをそして私を大切にすることで

あなたをそして私を大切にすることで

日置地区 PTA正副会長等研修会

7月6日(土)、いちき串木野市市民文化センターで、日置地区PTA正副会長等研修会・地区PTA教育講演会及びいちき串木野市家庭教育全体研修会が、2市のPTA・学校関係者、行政関係者等約150人が参加して開催されました。

PTA連絡協議会の久保博志会長から、「コロナ禍後、PTA行事が本格的に再開していません。苦労も多いですが、その活動は全て子供の健全育成のためであり、互いに連携していきましょう」と、開会の挨拶がありました。



▲挨拶をする久保博志会長

講師は、認定こども園紫原幼稚園の花月敏郎園長です。花月氏は県教育庁人権同和教育課長や鹿児島市立紫原中学校長等を歴任されています。演題は「あなたをそして私を大切にすること」でした。



▲講師の花月敏郎氏

自己肯定感を高めるために、「一つの声掛けが自己肯定感を左右する」「リフレーミング」することで人の見方が変わり、相手を肯定的に捉えることができる」と分かりやすく教えてくださいました。そして、多様性と調和が求められるこれからの社会では、互いに認め合い、尊重することが不可欠であると熱く

わが町からく三島村教育委員会

同和問題を含む様々な人権課題については「かわいそうではなく、共感、尊敬することによって差別・偏見がなくなっていく」という指導もいただきました。

本研修会の学びを、各家庭やPTA関係者の学習に広げ、多くの方の人権意識の高場につながることを願っています(左記は参加者の感想です)。



研修会の様子

編集後記

猛暑の今年の夏、「パリ五輪」に日本が熱狂しています。熾烈なメダル争いですが、日本人選手に限らず、外国人選手の活躍も、多くの人に感動や希望を与えてくれます。「いもこじ」も、地域の方々の活動を積極的に発信することで、少しでも地域へささやかな夢や希望が届けられたらと思います。(事務局 田中)